

講演会① 2024年6月8日(土)
主催：(一般社団法人)障がい児成長支援協会
共催：株式会社 メディカルアーツ

「特別支援が必要な子どもの 夏休みの過ごし方」

- 運動能力を伸ばすポイント
- 学習能力を伸ばすポイント
- 社会性を伸ばすポイント

(一般社団法人)障がい児成長支援協会 代表理事・協会長
中部学院大学 非常勤講師 山内康彦(学校心理士SV・ガイダンスカウンセラー)

7月末から夏休みが始まります
保護者にとっては正直“うんざり”なんて思っていないですか？
少しでも充実した休みを過ごせるようにコツを紹介します

生活リズムが乱れてしまう夏休み！
二学期のスタートがまた大変になってしまおう！
どうすればよいか・・・・・・・・・・・・・・・・

優先順位を考え効果大 答えは「衣」「食」「住」

- ①「衣」→朝起きて着替えさせる(気持ちの切り替え)
- ②「食」→1日3食で“1日のリズム”をつくる
- ③「住」→飽きないように毎日に楽しみと変化

みなさん ご存じですか？

公共の場をもっと利用しましょう！

(例)児童館・公民館・生涯学習センター
放課後等デイサービス・児童発達支援

料金は格安・・・無料の内容も実は多い！

優先順位を考え効果大 答えは「衣」「食」「住」

- ①「衣」→朝起きて着替えさせる(気持ちの切り替え)
- ②「食」→1日3食で“1日のリズム”をつくる
- ③「住」→飽きないように毎日に楽しみと変化

①「衣」→朝起きて着替えさせる (気持ちの切り替え)

- ◎ラジオ体操→起きるきっかけ
(家族で朝の散歩でもよい)
- ◎学童・児童館・放課後等デイの活用
(学校登校日と同じような生活リズム)
- ◎週に1回は“楽しみなお出かけ”を家族で
企画する(突然行くのではなく、前もって
言っておくと良い) ※事前の予告が大切

②「食」→1日3食で “1日のリズム”をつくる

- ◎生活リズム作りは“楽しく”が基本
食事は子ども達にとって楽しみなもの！
- ◎すっきりウンチで1日元気
- ①夜8時以降は飲食をしない
- ②朝起きて10分動く
- ③朝食は20分かけてゆっくり食べる
※「胃の結腸反射」→排便につながる

③「住」→飽きないように 毎日に楽しみと変化

- ◎成功経験ができる工作や活動(簡単な)
「またやりたい」「やってよかった」



【万華鏡作り】



【リース作り】



【コリントゲーム作り】

③「住」→飽きないように 毎日に楽しみと変化

◎絵日記と読書感想文をスラスラ書くことができる指導方法

→パターンで文章を書く指導方法

◎オススメの一課題一研究

→調理をすることで社会性も身につく！

支援の基本→“なぜできないのか？”を
子ども達の気持ちになって寄り添って考える

▲何を書いて良いかわからない

▲どうやって書いてよいかわからない

▲上手く書けたのかどうかわからない

加えて上記以外に“めんどう”という『4重苦』
が作文なのです。

→「これならできそう」と思えるものに取り組み
せることが重要となる。

《日記の書き方①》

指導をシンプルにわかりやすくする

日記を書く“パターン”を教えてあてはめるだけ

▲何を書いてよいかわからない。→※ココだけ

◎どのように書くのかお手本を示す

◎書き方を全てお手本で示す

(よいお手本を示す)

つまり指導することは・・・

《例》「今日楽しかったことが3つあるかな？」

・なかったときに、楽しかったことを付け加える
支援をするだけでよい。

※たまには、楽しかったことが2つの日や4つの
日があってもよい

《日記の書き方②》

☆以下のパターンにあてはめて書いただけ！楽々

題 今日楽しかったこと 3年2組 山内 康彦

□今日楽しかったことは、全部で3つあります。

□一つ目は、～です。

□二つ目は、～です。

□三つ目は、～です。

□その中で一番楽しかったことは、～です。

□わけは、～だからです。

□そのことをお母さんに話したら、

「 」

と、言いました。

□ぼくは、～と思いました。

□明日も楽しいことが3つあるといいなあ。

《日記の書き方③》

☆なんと応用もできる。

①読書感想文

□この本を読んで楽しかったことは、全部で3つあります。

□一つ目は、～です。二つ目は、～です。三つ目は、～です。

□その中で一番楽しかったことは、～です。□わけは、～

□そのことをお母さんに話したら、「 」と、言いました。

□ぼくは、～と思いました。

□次にこの本を次に不思議に思ったことを3つ書きます。

□一つ目は、～です。二つ目は、～です。三つ目は、～です。

□その中で一番不思議に思ったことは、～です。□わけは～

□最後にこの本を読んでよかったことを2つ書きます。

□一つ目は、苦手な読書感想文がスラスラ書けたことです。

□二つ目は、早く読書感想文の宿題が終わって気持ちが楽に

なったことです。

□来年も・・・

◎オススメの一課題一研究

→調理をすることで社会性も身につく！

○火がおこせない？ ○缶切りができない？



なぜ私が二次障害を起こさなかったか？

- × 苦手な事や課題を克服するマイナスを埋める教育では、所詮頑張っても「0」
- 得意なことや好きなことを伸ばしていくことで、マイナス面も高まっていく考え方が大切

(例) さかな君・トムクルーズ・金澤翔子さん

- ぼく(山内)にはたくさんの特技がある。
(サッカー・手品・ギター・スキー・船舶免許)
- ※ 自信→自己肯定感となっていく
- ※ 大きな花1つのタイプや小さな花の花束タイプ

こんなぼくを受け入れてくれた 親や周りの大人に感謝！！

- 「やりなさい」ではなく「一緒にやろう！」
- プラレールの片付けができない時に・・・
→ よい姿を横でお手本！気持ちの切り替えを待つ
- 魚釣りを誘ってくれたお父さん
→ 「できることからの出発」まずは成功体験

家にも・・・ゲームやYouTubeばかり
学童保育は・・・ほったらかし、声かけのみ
放課後等デイサービスで充実した夏休み！

「困った子」は「困っている子」

「困った子だ！」と嘆いているのは、大人の勝手な視点

☆ 実は一番困っているのは
その子ども本人
子どもの困り感に寄り添うこと

叱られる子は真のスパイラルに陥っている

できない→叱られる→自信がなくなる
→ やらない→叱られる→ふてくされる
→ 怒鳴られる→逃げる(反抗する)
→ もっともっと怒鳴られる

- ◆ 自己肯定感をなくしていく
「俺はどうせバカだから・・・」
「どうせ 私には できないし・・・」
「はじめから やらない方がいいや」

ほめることでよいスパイラルに変えていく

できる→ほめられる→自信がつく→やる
→ またほめられる→もっともっとやる
→ どんどんできる→更にほめられる
→ より高い目標に向かって取り組む

- ◆ 自己肯定感を高めていく
「ぼくは、計算は得意なんだ。」
「調理が好きでコックさんになりたい」
「勉強は苦手だけどやさしい子です」

「通常の教育」と「特別支援教育」の違いを一言で表すと・・・

《通常の教育》

できないことへのチャレンジ教育
※ 今までのできた自信があるからできる。

《特別支援教育》

できることからの出発教育
※ やらせでもよい。まずは、
できた経験を沢山積むことで
自信となり自己肯定感が高まる



子どもたちにやらせる方法(1)

行動を起こすときの条件から考える

1. 楽しい おもしろい やってみたい
2. できる わかる 上達する
3. ほめられる 表彰される
4. こわくない 安全

(例) 宿題をやらない理由と
すすんで取り組ませるためには？

子どもたちにやらせる方法(2)

取り組ませ方の工夫

×親や先生が決める

- ・僕が決めたんじゃない

◎本人に選択させる

○選択するとは本人が決めたこと

○メリットとデメリットを事前に説明

×本人に考えさせる

- ・そうなるとは思わなかった
- ・わかっていたらやらなかった

保護者や指導者からのよくある
お悩みについて具体例を通して
お答えします

①「片付けが苦手な子」に対する支援方法

なぜ片付けることができないか？

×複数の指示が混在している

1集める 2分ける 3整頓

この3つを分けて順に指導する

具体的には

まず「集める」ことから始める

②「時間が守れない子」に対する支援方法

なぜ時間を守ることができないか？

×気持ちの切り替えが苦手

口の指示ではなく音楽を活用

園や学校も同じことをしている

具体的には

気持ちを切り替える音楽を流す

③「ゲームを止めない子」に対する支援方法

なぜゲームを止められないか？

×事前の約束を決めていない

自分が決めたことは守らせる

甘やかせてはいけない

具体的には

「ゲーム貯金」という指導法

④「仲間とうまくかかわれない子」 に対する支援方法

同級生と上手くいかないのは
相手が受け入れる力がないから
大人の友だちをつくること
→大人は、我が子を受け入れてくれる

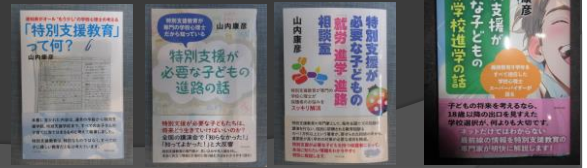
10年待てば・・・
同級生はみんな大人になる！

ご清聴ありがとうございました



オススメ ほめる育て方や進路についてわかる本！

- ①特別支援教育って何？
 - ②特別支援が必要な子どもの進路の話
 - ③特別支援が必要な子どもの「就労・進学・進路」相談室
 - ④特別支援が必要な子どもの高等学校進学の話→※新刊
- WAVE出版→書店・アマゾン等で購入可能！



山内先生の無料個別相談会

6月22日（土）
9時半～20時まで
【お一人25分】

- 将来の進路・就労についての相談
 - 療育・受診を受けようか迷っている方
 - 園や学校との連携に悩んでいる方 など
- ※メールまたは電話等でお申し込みください。